

目標設定シート

部局と評価項目・要素

対象部局	法学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

○2009年度からの目標

1. 学生の学修ニーズに合わせて教育効果を高めるような専門科目の履修を促進する。
2. 演習科目のメニュー・数を増やして各年次に系統的に配置する。
3. 各専門科目の履修年次を見直し、効果的に配置する。
4. 早期卒業をつうじたジョイント・ディグリー取得や大学院進学を奨励する。
5. 各年次の履修科目登録数の上限を設定し、系統的・効果的な履修を可能にする。
6. 少人数教育の専門科目を系統的に配置する。
7. 到達目標・シラバスの内容を明確化・詳細化し、授業内容との整合性を図る。
8. 適正かつ厳正な成績評価を確保する。
9. 学習会・研究会などの企画をつうじて各教員に授業方法を検討する機会を増やす。
10. 個別学修相談の機会を増やす。

○指標

1. 履修説明の実施回数と、履修モデルの提示
2. 演習の種類・開講数と履修登録率・単位取得率
3. 履修年次を変更した科目の履修登録率・単位取得率
4. 複数分野専攻制（MDS）履修者数（他学部生の履修者数、法学部生の履修者数）、早期卒業によるジョイント・ディグリーの取得者数（他学部生の法学士取得数と法学部生の他学部の学士の取得者数）、大学院進学者数（法学研究科・司法研究科への進学者数）
5. 学生の各年次の単位修得状況
6. 少人数教育の科目の開講数、履修登録率・単位取得率
7. 授業内容の満足度調査、およびシラバスとの整合性に関する調査
8. 成績評価・成績分布調査結果の各教員への周知
9. FD（ファカルティディベロップメント）やカリキュラム検討のための学習会・研究会の実施回数・参加人数
10. 個別学修相談の件数